

# 松戸ロータリークラブ会報

第2704回 例会

No.2703

2011年12月21日発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

## ■ 本日のプログラム

2011年12月21日(水)

クリスマス家族例会

## ■ 次回のプログラム

2011年12月28日(水)

定款第6条第1節により休会

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
U R L : matsudo-rc.com  
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会長 常盤 映彦
- 会長レク 加藤 栄
- 副会長 島村 俊充
- 幹事 中澤 雅彦
- 会計 猪股 貴久
- 会報委員 橋口 和幸 中田智次郎 松田 茂一  
小林 登 田原 晨暁 杉浦 章浩  
鈴木 昌広 車田 善教 浅井 利明  
飛田 勤

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

## 「私が思う奉仕の理想」

松戸北ロータリークラブ会長 鈴木 悦朗 様



本日は、私の所属する松戸北RCのホストクラブであり、知り合いも多数いらっしゃる松戸RCより卓話のご依頼を受け、お話しする機会を得て、誠に光栄でございます。

「仏教について」とお話しでしたが、あまりにも広い題材ですので仏教における利他行とロータリーということでお話しさせていただきます。

人は人の喜びで、

自分が生きがいをもつ生き物です。

自分がいることによって、

人が喜んでくれる

自分さえよければいいではなく

成長し、社会に自分が必要とされ、

社会に少しでも貢献している自分に

生きがいをもつ生き物です。

仏教には、「自利利他円満」という言葉があります。自分を磨くこと（自らの利益を得ること）と、お役に立つこと（他を利すること）の両面を兼ね備えることが仏教の人間像の理想の姿とされています。大乘菩薩道の理想像です。

しかし、一般に、私たちの社会では自分のための行為と他人のための行為では、あい反する場合が多く、両立する事は非常にむずかしい。だれでも自分のためならば進んで物事に取り組むが、他人のための行為は、自分を犠牲にすることが多いからなかなかできるものではない、ひとを犠牲にしてでも自分がよかれと思うのが常だと考えがちです。

先日、あるテレビ番組を見ていましたら、クイズで「情けはひとのためならず」という諺の意味を問う問題がありました。だれでも知っていると思っていきましたら案外知らない人が多いことにび

っくりしてしまいました。なかでも、多かった答えは、「情けをかけることは、情けをかけられたその人のためにならない」ということでした。

本来この諺は、「ひとへの思いやりは、ひとのためというよりも自分自身のこころを成長させるためにするのである」という教訓のことばです。他を批判することには慣れていますが、自分自身の成長にはなかなか目が向きません。

ひとのことなど気づかっている激しい競争社会、ともすると自分や自分の家族さえよければいいとする間違っただ個人主義が蔓延して「気づかい」という言葉が残っていても、世間の目に対する気遣いだけでは寂しいかぎりです。お金をせば何でも食べられる外食産業・スーパー・コンビニ、ひとと会わないでも目的地に行けるワンボックスカー時代、ひとと会わなくても遊べるコンピュータゲーム時代の中で、いつの間にか、ひとの傷みを感じない社会、無縁社会になっていたように思えます。

しかしながら、3月11日、東日本大震災、大津波、原発事故という大きな国難が訪れて、自分だけよければいいと考えてしまう心から、明らかに、共に生きることの大切さ、助け合いの精神が芽生えてきました。避難所になった東漸寺には、1000名を超える皆様から支援物資が届き、60名ものボランティアが何かお手伝いできることがないかと訪れ、心が洗われる思いでした。ひとの役に立てる幸せが、明らかに生きる喜びとなっていました。

ボランティア活動を行うにあたって大切なことは、仏教の教えでは「四摂事（しししょうじ）」という四つの実践法、布施・愛語・利行・同事で解釈することができます。

「布施」は、ものでも心でも、惜しみなく他者に分け与えること。一切の見返りを求めずに、自分が精いっぱいできることを自然に行なうことです。

「愛語」は、やさしい愛のあることばをかけること。

「利行」は、自分の身と口と心を使った実際的なエネルギーを発信するアクションのこと。

「同事」というのは、相手と同じ目線に立って、コラボレーション「協働」すること、パートナーシップのことです。

ボランティアの根本精神はまさしく「自利利他」です。

自らを生かし、他者を生かすということ。

自分のことは、さておき人のためになにかをしなさい、ではなく、自分を生かすボランティアをやっている人は、他者も生かすことができる。

本当の自利の精神があって、利他の心が機能していきます。

人は、自分がおぼれながら、おぼれた人を助けることは、できない。

ゆったりした中道の心で自分を活かし、相手を生かす。

ひとの役に立てるように、それぞれが共に地域を支え、助け合っていくことは、とても大切なことです。文明社会の中で、自助・共助・公助の在り方を考え、自分自身のあり方としての目標をこころの中に持つことが、「智慧」すなわち、物事を正しく判断して処理する心の働きを育てていくのではないかと思います。

ありがとう” 普段なにげなく使っている、お礼の言葉。これも語源は「有難し」という仏教語である。出典は『法句経』の、「ひとの生をうくるはかたく、死すべきものの、生命あるもありがたし」である、と言われている。

人が生きていくのは苦しみであるし、いずれ死すべきものであるが、その中で縁あって生命があることはなかなか素晴らしいことであるという生まれた生命の驚きを教える教説である。だから「有り難し」とは、その仏説を聞き、人の生命の尊貴（そんき）さへ目覚めた、大いなる感動を表す言葉でもある。それがいつしか感謝の意に、転用されるようになったのである。先人のこのような宗教的心情を想う時、日本語の中でも、特にすぐれた美しい言葉であると思う。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

カルヤン・パネルジーRI 会長の今年度のテーマです。インドらしい派手な色遣いだなと思い、とっさにターバンをデザインしたのかなと思いました。しかし現実にはそうではなく、ハートのマークが次々と開いていく姿をアニメ化したものであり、まさに、「こころの中を見つめよう」のハートを表したデザインであることがわかりました。

今年度のテーマを東洋思考で解釈すると、仏教でいう四無量心すなわち、他人のことを思い遣る利他の心のことを表しているとも言えます。

慈：人をいつくしむ広いこころ

悲：人の悲しみを我の悲しみに

喜：我一人の喜びにあらず、全ての人の喜びが  
我の喜び

捨：人に尽くしても見返りを求めない心

まさに Serves above self の世界です。

今年度のテーマ・ロゴが「心」を表しているのは、パネルジー会長の心の中に四無量心という仏教的志向が浮かんだのかも知れません。

パネルジ会長が尊敬しているピチャイ・ラタクル国際ロータリー2002-03年度パスト会長は、テーマに『慈愛の種を播きましょう』---あなたのクラブに、あなたの職場に、あなたの地域社会に、

そして世界中ありとあらゆる場所に。でした。「どれだけ沢山の物を与えるかではない、大事なのはどれだけ満ち溢れる 慈愛をこめて与えるかです」とのマザー・テレサの言葉を引用され、我々ロータリアン一人一人の心の中に満ち溢れる「慈愛の心」を呼び起こしました。

私達が、「自分のクラブ」・「職場」・「地域社会」・「世界」・「青少年」という5つの畑に慈愛の種を播き続けることは、やがて小さな芽を吹き、大きな花へと成長し、必ず人道的奉仕という豊作が得られると述べられています。

この「慈愛の心」は仏教でいう「布施行」であり、そしてロータリーのいうところの「奉仕の理想」と思います。

布施という言葉は、お坊さんに差し出すお礼のことだと理解しておられる方がほとんどではないかと思えます。布施というのは、布施行と申しまして、他人に何かを差し出すことによって、自分に幸せが戻ってくるという仏教の教えをいいます。これは、財施と言って財物を差し出すことをいいますが、法施と言って他人に仏法を説き聞かせることや、無畏施と言って一切の衆生に畏怖（おそれ）の念を取りのぞく布施もあり、これを三施と言います。布施行はまた、僧俗の別なく私たちみんなが実践していかなばならない修行の一つであります。私たちは、それなりに、より良い社会の実現を目指してこの社会生活を形作っております。仏教では理想的な社会生活を目指す実践項目がいくつか有り、その最も重要なものの一つが布施行であります。

では、施すべき財、説くべき教え、恐れを取り除く力がなければ布施の行ができないかということ、そうではないと言われていました。地位や財産がなくても、誰もがいつでも容易にできる布施の行、それが「無財の七施」です。「無財の七施」とは、次の七つの施しをいいます。

#### 無財の七施

1. あたたかい眼差し（眼施）
2. にこやかな表情（和顔悦色施）
3. やさしい言葉・気持ちよいあいさつ（言辞施）
4. 精一杯のこころがけ（身施）
5. いつくしみ深いこころ（心施）
6. 人にあたたかい席を（床座施）
7. 気持ちよく迎える心（房舎施）

伝統仏教の「無財の七施」のところがけは、まさしく人間が、思いやりのある共同生活をおくるためのところがけであり、失われつつある日本人の品格ある無償のふるまいでありロータリーの Serves above self 超我の奉仕の心と重なる部分が多いと思います。その心を持ちながら、職場で、クラブで、地域社会、あるいは国際社会で奉仕の理想にむかってロータリーの夢を追いかけようではありませんか。

「奉仕の理想」とは「人のことを思いやり、人のためにつくすこと」

Rotary clubs everywhere have one basic ideal - the "ideal of Service," which is thoughtfulness of and helpfulness to others.

ロータリークラブは人に対する思いやりや人のためにつくすという奉仕の理想という基本理念を持っています。

ロータリーの基礎に Service をすえたのはアーサー・F・シェルドンであり、この Service の意味は人のためにつくすことです。ビジネスでも Service の心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながります。

親睦と奉仕は車の両輪であり、ロータリアン同士の深い信頼、自分の足らざるところを他のロータリアンから学ぶ姿勢、例会は人生の道場、クラブ例会等に出席して、事業上の発想の交換を通じて、お互いに切磋琢磨して奉仕理念を研鑽し、自己改善を図る、例会では世のため人のために尽くす心、すなわち奉仕の心を作るクラブ奉仕、クラブの外では奉仕の心を適用して、職業奉仕、新世代育成を含む社会奉仕さらには機会をみて国際奉仕を实践する入りて学び、出でて奉仕せよ「Enter to learn, Go forth to serve」という観点を大切にしたいと考えております。

ご高尚のようにロータリーには2つの奉仕理念があります。その一つが「超我の奉仕」Service above self という奉仕哲学であり、もう一つが最もよく奉仕する者、最も多く報いられる He profits most who serves best という実践倫理（シェルドンの職業奉仕の理念）であります。

バブルの崩壊、リーマンショック、このたびの大震災を受けた日本。ロータリーもその運営方法を変えていかないといけないと感じます。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、「世界は絶えず変化しています。私たちは、この変化する世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は、繰り返し、繰り返し、書き直す必要があるでしょう。」と述べています。

ロータリーにもチェンジが必要で、変えていかねばならないのは、クラブの組織の管理運営スタイルや奉仕活動の実践方法で、ロータリーで変えてはならないものは「ロータリーの哲学」すなわち「ロータリーの奉仕理念」だと思います。

さて古来より仏教には、六波羅蜜（本当の幸福を得るための6つの条件）として、布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧を挙げています。

#### 1、布施（ふせ） ほどこす

人のために惜しみなく何か善いことをする。

#### 2、持戒（じかい） つつしむ

本分を忘れずに、ルールを守った生き方で、人間らしく生活することです。自分勝手に生きるのではなく、互いに相手のことを考えながら、仲良くゆずりあっていく共同生活のルールを守ることです。

#### 3、忍辱（にんにく） しのぶ

悲しいことや辛いことがあっても、落ち込まないで頑張ることです。物事の本質をしっかりとおさえて、ときには犠牲的精神を持って困難に耐えることです。

#### 4、精進（しょうじん） はげむ

まずは最善をつくして努力すること。良い結果が得られても、それにおごらず、さらに向上心を持って継続することです。

#### 5、禅定（ぜんじょう） 心身を静める

心を落ち着けて動揺しないこと。どんな場面でも心を平静に保ち、雰囲気にならなれないことです。

#### 6、智慧（ちえ） よく学び、よく考える

真理を見きわめ、真実の認識力を得ること。人は誰でも生まれながらにして仏様と同様の心を持っています。欲望が強くなると、単なる知識だけで物事を考えるようになります。知識ではなく智慧の心を以て考えることです。

以上が六波羅蜜の意味です。

人生80年90年の時代です。仏教には90年になったからもうこれでいいということはありません。いくつになっても、このような心がけが大切なのです。いつまでも彼岸（理想）にむかってポジティブに邁進する心がけが大切なのです。



### 会長挨拶



常盤映彦 会長

こんにちは。

12月7日の理事会において、先の東日本大震災による原発事故により福島から避難している奨学生の家庭を対象に年内に、10万円の義捕金を送ることが決まりました。

このお金は、昨年度に会員の皆様に義損金としてクラブが預かりしているものから拠出したしますのでご了承ください。

今日は松戸北RCの東漸寺御住職でもあります鈴木会長に卓話をお願いしております。

当クラブには職業分類、仏教の方はおられませんので無理にお願いしてきていただきました。

ほとんどの日本人は亡くなる時は仏教により葬儀を行います。

私見ですが、1神教の国より多神教や仏教の国のほうが穏やかな人が多いように感じます。

東日本大震災の折にも、称賛された日本人の心のなかには、仏教の教えがあると存じます。

日本におけるロータリーの「奉仕の理想」は、神道や仏教のもとで培われた日本人の心と繋がるものがあると思いますので、卓話「私の思う奉仕の理想」を拝聴したいと思います。

鈴木様宜しくお願いいたします。

### クラブ年次総会



第6条・第2節により「役員を選挙するための年次総会は細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されなければならない」とあります。クラブ役員氏名委員会の加藤委員長より発表がありました。

尚、役員につきましては加藤委員長一任でお願いします。

### 【2012年～2013年度 任務一覧表】

(敬称略)

【理事】	小泉 勝司	杉浦 裕	中山 政明
	伊原 清良	常盤 映彦	加藤 栄
	島村 俊充	織田 信幸	松葉 則明
	申 澈権		

それでは議事に入ります。人事でございますので、拍手で承認をお願い致します。

全会一致で承認されました。

### 幹事報告



中澤雅彦 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
会報に第6回理事会報告が掲載されておりますので、ご確認願います。

来週12月21日の例会は、クリスマス例会のため開催時間・場所がいつもと違います。ご注意願います。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
地区インターアクト委員会より国外研修のホームステイ受け入れならびに送迎移動手段確保のお願いが届いております。2012年1月12日(木)～1月15日(日)

昨晚、第12分区会長幹事会が開催されました。特に2月開催されるIMについて話し合いがありました。

3. 他クラブ会報・その他  
会報が柏RCより届いております。
- 4 例会変更の連絡  
特にありません。
- 5 その他  
特にありません。

## 委員会報告



### クラブ研修委員会 湯本高之 委員長

12月10日(土) 1:00～4:30、千葉商工会議所ホールで開催された地区クラブ研修セミナーに参加してまいりました。

## 例会報告



浅井会員



小川会員

### [出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席41名	義務会員34名	免除会員 7名
仮欠11名	義務会員 9名	免除会員 2名

### [欠席者]

伊原 清良君	島村 善行君	加藤 栄君
大川 吉美君	松田 茂一君	森田 雅久君
川並 芳純君	平松 徹君	田原 晨暁君

### [M U]

安井 克一君	地区クラブ研修セミナー	12月10日
安井 克一君	ガバナー補佐会議	12月11日

本日出席率 82.0%  
先々週出席率修正 79.17% 79.59%

### [お客様]

渡辺 剛様	松戸東RC
関戸 優様	松戸中央RC
湯浅 健司様	松戸東RC

### [ゲスト]

鈴木 悦朗様	松戸北RC
--------	-------

## ニコニコBOX

松戸北RC 鈴木悦朗様 / 本日はお話しさせていただいてありがとうございました。きょうは柏レイソル対サントス戦があります。日本のために、東葛地区のために応援いたしましょう。

松戸東RC 湯浅健司様 / 本日は例会にメーキュアアップでお邪魔させて頂きありがとうございました。また昨日は、土屋パストガバナーに次年度地区大会記念ゴルフ大会の第一回現地打合せに鷹之台(たかのだい)カントリー倶楽部まで、おでまし頂きありがとうございました。次年度地区大会記念ゴルフ大会実行副委員長の私としては大変ありがたく感謝申し上げます。

小川 一君 / 昨日の十日会では、晴天に恵まれたメンバーに恵まれ、優勝する事が出来ました。時節柄、小人数での開催となってしまいましたが、小林孝数会員のはからいで、名門龍ヶ崎CCのフルバックからのプレイをさせて頂き、とてもよい経験をさせて頂きました。

松葉則明君 / 入会記念日のお祝いをいただき、ありがとうございます。入会して6年たちました。今後共、御指導の程宜しくお願い致します。

湯本高之君 / 誕生日と入会記念の御品をありがとうございます。

飛田 勤君 / 所用で退席させて頂きます。申し訳ありません。

ニコニコBOX	当日 ¥36,000	累計 ¥ 540,000
財 団BOX	当日 ¥ 3,559	累計 ¥ 75,151

文責 / 橋口

